

| | 項 目 | 操 作 手 順 | 備 考 |
|---------|-----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|
| 基本設定 | 印加電圧の設定 | MANUAL モードで、[VOLTAGE] を押し、0.2 ~ 6.0 (kV) の範囲で設定。 (10V ステップで設定可能)(1kV の場合は [1][.] [0] と小数点を入れ入力する。) | コイルの許容範囲を超えないように注意する！ |
| | 印加パルス数の設定 | [PULSES] を押し、印加パルス数を 1 ~ 8 の範囲で設定。 プリパルス (消磁) が必要な場合は、0 ~ 8 の範囲で設定する。 ☞ 前回の値を使う場合は、設定の必要はない。 | 一般的な目安は、1 ~ 3 回程度 通常の使用では、消磁パルスの設定は必要はない (0 を入力)。 |
| | スイープ・レンジ設定 | [] キー (Auto スイープ) を押す。 | 「Auto スイープ」は最適な波形を保証するものではない。 |
| | 電圧カリブレーション | [LEARN] を押し、パルスが印加され、LCD には波形が表示される。 必要に応じて、[SWEEP] キーを押し、波形を見ながら Jog ダイヤルで、スイープを調整する (スイープレンジは 1 ~ 400)。 | スイープを調整した場合は、[LEARN] の LED が消えるので、再度 [LEARN] を実行する。 |
| ゾーン設定 | 差分面積による判定の設定 DIFFERENTIAL AREA | [ZONE] を押す。ピンク色の垂線が現われるので、「差分面積判定」を行う始点と終点にカーソルを合わせる。(左右の垂線のアクティブ切替は Jog を押す。) 設定後 [Enter] を押し、「放電ノイズ」のゾーン設定へ進む。 | 一般的「判定ゾーン」は、最初のゼロ・クロスから 4 回目のゼロ・クロス。 |
| | 部分放電判定の設定 CORONA/PD VALUE | オレンジの垂線が現われるので、部分放電判定を行う始点と終点にカーソルを合わせ、[Enter] を押し確定する。 | 「判定ゾーン」は、立ち上がり部分 (トリガー・ノイズ) を除いた最初の 1 サイクル程度が一般的。 |
| パラメータ設定 | 差分面積リミット設定 | [PARAMETER] を押し、Differential Area のカーソルが点滅する。 良否判定のパラメータ値 (%) を入力すると、カーソルは部分放電の項に移動する。(2% の場合は、[2][.] [0] と入力する。) | 適切なパラメータ値が分からない場合は、「2%」と入力してみる。 |
| | 部分放電リミット設定 | カーソルが Corona/PD であることを確かめ、上記の差分面積と同じように、適切なパラメータの数値を入力する。(2% の場合は、[2][.] [0] と入力する。) [PARAMETER] の LED が消え、パラメータ設定が完了する。 | 適切なパラメータ値が分からない場合は、「2%」と入力してみる。 |
| 波形の保管 | 保存 | [LEARN] の LED が点灯していることを確認し、[SAVE] を押す。 | |
| | マスタ ID の入力 | 「Select file No.」の項目に、1 ~ 15 のファイル番号を選び [Enter] を押す。 次に、その File No. にマスタ ID 名 (20 文字以内) を付け入力する。 マスタデータは、本体メモリに登録され、LCD 画面の右下に、今登録したマスタ ID が表示される。(自動試験の項目へ進む。) | Jog ダイヤルにてアルファベット、記号も入力可能。 |
| 波形の呼出 | マスタ波形の呼出 | LCD 画面の右下にマスタ ID が表示されていない場合は、[RECALL] を押す。ファイル一覧が表示される。 | アクティブ・ファイルは、黄緑で表示される。 |
| | マスタ波形の選択 | 呼び出したいマスタ ID の File No. を選択し [Enter] を押す。 | |
| オート試験 | AUTO モード | [AUTO] を押す。 | |
| | AUTO モード試験の実行 | 試験コイルを接続し TEST ボタンを押す。 波形と良否判定の結果 (PASS/FAIL) が表示される。 | |
| ファイル操作 | 波形ファイルの削除 | [FILE] を押し、リストが表示される。 File メニューより、[3] を押し「Delete File」を選択すると、削除する File No. を訊いてくる。ファイル番号を入力し、[Enter] を押し、そのファイルが削除され File メニューに戻る。 | |
| | アクティブ・フォルダの選択 | File メニューより、[1] を押し「Change Folder」を選択すると、変更先のフォルダ番号を訊いてくるので、0 ~ 14 までの番号を入力し [Enter] を押す。 | 2桁のフォルダ番号を入力する際は、[Enter] を押す必要はない。 |
| | フォルダのコピー | File メニューより、「2. Folder Copy」を選択する。 画面の指示に従い、Source Folder (コピー元) および Dist. Folder (コピー先) の番号をそれぞれ選択する。 | |
| パラメータ変更 | MASTER 波形の呼出 | 「波形の呼出」参照 (検査条件を表示する) パラメータの設定を変え、別名または上書き保存する。 | ZONE、基本設定を変更した場合は、[LEARN] を押し、電圧カリブレーションを再度、実行する。 |
| | | | |